

学習展開案

対象（時間）： 9/18(土) 14:30～16:00 (90分程度)

教材番号「 21 」：「 ほどよい距離感って？～子どもの自己と親の自己へ 」

【ねらい】 子どもの自己を適切に支援できるよう、親の接し方について考える。

【準備物】 学習者：筆記用具

主催者：会場、アクリル板、アイシングクッキー、おもちゃ、写真撮影用機材、マシン、内板シート、ガムテープ、自作ドーナツ、ギフト袋

時間	活動の展開	留意点	備考
(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○名札付け(未だ順位) ○ファシリテーター自己紹介、主旨・ルール等説明 	<ul style="list-style-type: none"> ○全員が名札をつける(ニックネーム可) ○柄やかが雰囲気作り ○男女混用 ○写真撮影了解 	☆会場準備 オホ:講師用
(10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○アイスブレイク「ハニステーション」 ①1月～2月生まれの順位に並ぶ(手振り身振り) ②自己紹介、バースデー、中高生時、熱中した事を前す ③前から書きかけ、グループ分け ④グループで再度、自己紹介、中高生時、どのようにされたか? 	<ul style="list-style-type: none"> ○笑顔、会話のオーミングアシスト → 時おり、コメントをはさむ <p style="text-align: right;">(実験で実行)</p>	・机撤去 ・机配置
(5分)	<p><思い出しレッシュ> P.Zに記入 * 今、どんな子ども? → (追加) どんな大人に わたってほしい?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○小さかった子どもの開きを思い出してからう。 ○自分も、子どもに対する理解と現実を書き出し。 自分も、子どもに対する見方に気づき直さなければ。 	
(10分)	○書いたことをグループ内で発表レッシュ	<ul style="list-style-type: none"> * おつり約束(平等・肯定・承認)+パスワード説明 ○子どもの開きの多様性に気づいてからう。 ○人の潜伏を聞き、多くの気づきがある事を実感してからう。 	
(5分)	○各自でくつろい/エピソードを読みましょ> P.Z (*潜伏でグループ内で流れよう!)	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが大きくなり、何か離れるようになってからう 10ヶ月は離さない事を実感してからう。 	
(5分)	<考え方、流れ、いまは> P.Z記入	<ul style="list-style-type: none"> ○どんな育てをしてきたか、少し覚える。 ○親としての生き方にについて考えてみる。 	
(10分)	<上記の③>についてグループ内で潜伏話し、紙にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が子どもくらいの年令の時、どうだったか? ○子どもへの接し方、言ひ方を考え直そう。 	
(10分)	○グループごとに潜伏話し = 潜伏者を決める	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の潜伏の多様性に気づき、多くの気づきを実感してからう。 	
(5分)	<潜伏振り返りましょ> P.Z記入	*しつかりやる、この瞬間だけでも気づかう。	
(10分)	<上記>について、潜伏話し、紙にまとめる。		
(7分)	○グループごとに潜伏話し = 潜伏者を決める		
(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○終了・片づけ ○まとめた紙の提出 ○アンケート記入 	<ul style="list-style-type: none"> → 全員で! → アンケート記入者から流れ解散 	

ポイント
 /人の人がしゃべりすぎないように配慮する。

14:46~

*小さかった子どもの関わりを描いてから。
 *自分の子どもに対する理想と現実を書き出し。
 自分の子どもに対する見方に気づくきっかけにする。

<思い出しましょう>

- 子どもが乳幼児や小学生だったとき、どんな子どもでしたか。また、どんな大人になつてほしいと思っていましたか。思い出して書いてみましょう。

	どんな子どもでしたか。	どんな大人になってほしいと思っていたか。
乳幼児期	<ul style="list-style-type: none"> ・さばなれでかわいい!と思った。 ・明るく③で、みんなからかわいがられていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今ます明るく素直に大きくなり くれば…と願った。
小学生のとき	<p>⑩ 友達にややく思ひやりある子</p> <p>⑪ 6年生の時、反抗期で、けむかう子だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泣いていた…と回り。普段青を青めさせた ことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こんな事を考えるよりはなかった。

- ◆今（思春期）、どんな子どもですか。

・じ、ちゃん・ぱあちゃんを、とても大切に思っている。
 猛強の部活もがんばっている。責任感がとても強い。
 友達をとても大切にしている。魏より大切
 口が蓮華で、泣きながら負けない、入をよく觀察している

・がんばることができ、
 社会で生き抜ける力を
 身につけた大人になつて
 ほしい。

説明
3つ大森
貢献

14:50~

15:00~

読解
操作

<コラムを読みましょう>

多く気づきあり?



コラム（平成18年度広島県教育モニターアンケートより）

- ◆高校入学時に子どもが万引きをしました。子どもの教育を母親まかせにしていましたことを後悔しました。素直で信頼していた子であり、悪いことをしたと落ち込んでいるのに追い討ちをかけて叱たり非難せずに、私が（父親）が子どもの教育を反省し嘆いていることを感じさせようと思いました。そのため、子どもを同伴して店主や校長に謝る姿を見せました。後になって子どもが、「父に感謝し二度と悲しませまいと思った」と語ってくれました。
- ◆年頃の娘には何を言ってもうまくいきません。干渉しないことで自分の精神安定を図っています。
- ◆長男・次男ともに中学生の時に非行に走りそうな時期がありました。親の方は常に子どもと向き合っているつもりでも、実際には他に何か大きな問題を抱えてしまうと気持ちが子どもに向いていない時があります。中学生・高校生と体は大きくなっていても、子どもたちはいつも親に自分たちの方を向いていてほしいと思います。母さんにとってあなたが一番大事な宝物だと話しました。

*子どもが大きくなり、手が離れるようになつて

10と目は離さない！

* 15:08 ~ 記入

<考えましょう、出し合いましょう>

- * どんな子育てをしてきたか振り返る
- * 親との生き方にについて考えてみる。

①あなたの家庭では、エピソードのような場面はありませんか。

コラムも読んで、思春期の子どもとの関わり方で困っていることがあれば、出しあわせてみましょう。

- ・現行の事だけを叱れば良いのに、エスカレートして、以前の事の上ばかり言及して、蒸し返してしまう事がある。
- ・叱る時に双方冷静になれず、エスカレートしてしまい、2,3日、口を開かないことがある。

記入
5分

②子どもが大人になるために、親はどのような関わりをすればよいのか、話し合ってみましょう。

- ・干渉しそうな、子どもの自主性を尊重してやる。
- ・いつも大切に思っているよ。何かあつたら気軽に相談してもらえる体制を自ら作っておく。
- ・子どもの話を聞く側からがらず、きいてやる。
親の価値観を押しつけない。

グループ名: 人の名前

1グループの程度で発表できようまとめる

* 15:08 ~ 上記の②について、グループ内で発表し合い、紙にまとめる。(5分)

* 15:23 ~ 第2回(2)発表(4分)

* 価値観の多様性に気づく

* 自分が子どもからの軽い時、どうだったか? * 子どへの接遇、言ふ方を考慮する。

* 15:33 ~ <学習を振り返りましょう> (1分)

※ 自己

※ かわいい

1人1レポート
1人1枚



自分のなかで、わかったこと、考えが変わったがあれば、書いてみましょう。

- ・いつも大切に思っていることを、とばで伝える。
- ・抱きしめてやったり、スキシップをかける。
- ・親の価値観を押しつけない。

* 15:38 ~ 上記について発表し合い、紙にまとめる。(10分)

※ 発表者を決める

1グループの程度で発表できようまとめる

* 15:48 ~ グループごとに発表ある。(2分) → ファシリテーター

* 15:55 ~ アクセト記入、発表用紙提出

※ アクセト記入者から流れ解散

記録